

## 今号の作業

# メインスタンドと ダイナモカバーを取り付ける



今号では、メインフレームを自立させる「メインスタンド」を組み立てる。リターン springs をメインフレームに取り付けることで、収納時と自立時の動作が可能となる。また、ダイナモカバーの取り付け作業も行う。今回の作業は比較的簡単な内容だが、メインフレームを完成させる足掛かりとなるので、しっかりと取り組もう。

## 今号のパーツ



- ① ベースフレーム 6×1
- ② ダイナモカバー ×1
- ③ ビス (Mタイプ) ×4  
(※1本は予備)
- ④ メタルクリップ E ×1
- ⑤ 4×9mm ワッシャー付きビス ×4

※①④⑤は今回使用しないので、大切に保管しておこう。

### 用意するもの

- ・メインフレーム (57号で組み立てたもの)
- ・ビス (Eタイプ) ×1 (37号で提供したもの)
- ・電池ボックスカバー (57号で取り外したもの)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

### 使用する道具

- ・+ (プラス) ドライバー (1番)
- ・ラジオペンチ
- ・ニッパー

### あると便利な道具

- ・中タップ (2.3mm) & タップホルダー



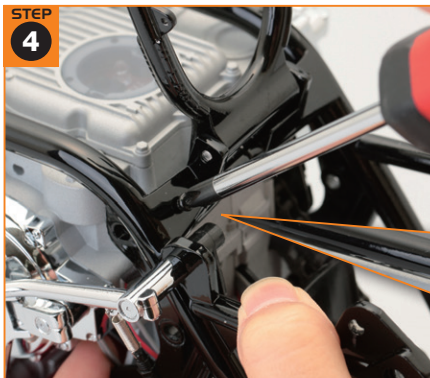
STEP 1  
57号で組み立てたメインフレームを用意したら、前回の作業時と同様に倒立させておく。メインスタンドを立てた状態にし、マスキングテープをはがす。



STEP 2  
次の作業をやりやすくするため、リターン springs をメインスタンドから取り外しておく。

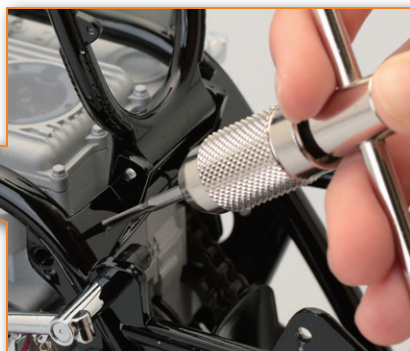


STEP 3  
写真に示したメインフレームのビス穴にタップを立てるため、37号で提供したEタイプのビスをセットする。



STEP  
4

1番の+（プラス）ドライバーを使い、Eタイプのビスを真っすぐにねじ込む。ねじ込む長さは全長の3分の2程度で、そこまでねじ込んだらドライバーを左に回してビスを抜き取る。



タップを立てる際、中タップ(2.3mm)とタップホルダーがあれば、より簡単かつ確実にタップを立てることができる。



STEP  
5

②で取り外したリターンズpringの端(リング状になっている側)に、④で抜き取ったEタイプのビスを差し込む。このとき“リングの向き”に注意しよう。写真と逆向き(リングが反時計回り)に付けてしまうと、適した張力が得られない。



STEP  
6

リターンズpringが垂れ下がらないよう軽く押さえ、1番の+（プラス）ドライバーを使ってEタイプのビスをビス穴にねじ込む。ビスの締め込み加減は、リターンズpringが動き過ぎない程度にしておこう。



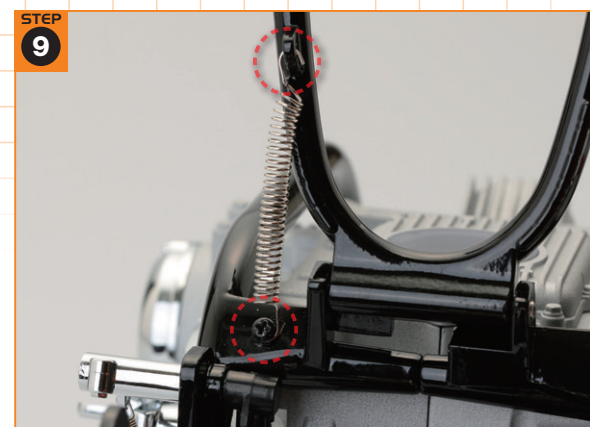
STEP  
7

ラジオペンチを使ってリターンズpring先端の“フック”部分を持ち、そのまま上に引っ張ってメインスタンドの取り付け穴へセットする。



STEP  
8

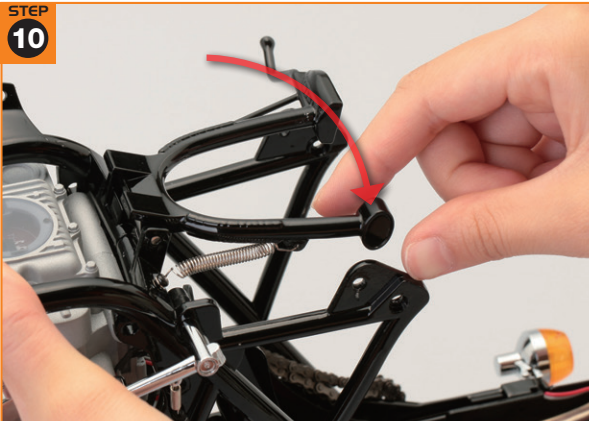
リターンズpring先端のフックを、取り付け穴に差し込む。もしもフック部分が必要以上に大きく開いてしまった場合は、ラジオペンチで軽く挟んで閉じておくといい。



STEP  
9

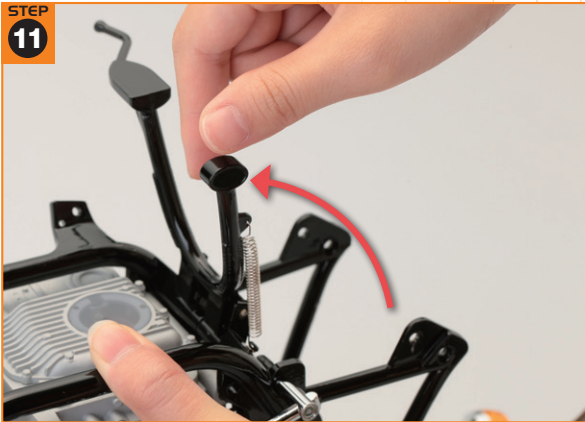
取り付けられたリターンズpring。写真のようになっているか、照らし合わせて確認しよう。特にspring両端部分の向きに注意しよう。

STEP  
10



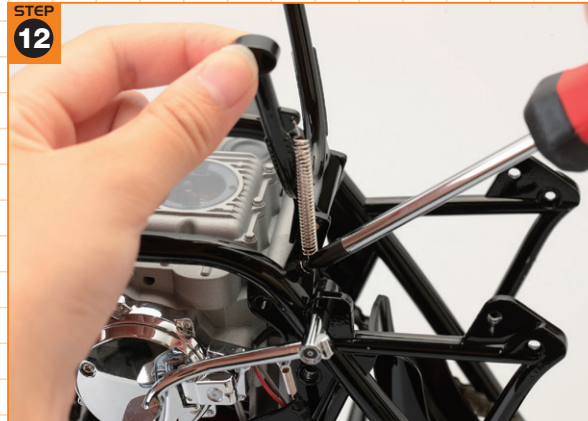
メインスタンドを倒し、手を離して様子を見る。倒れた状態のままか、それとも立とうとするかをチェックする。

STEP  
11



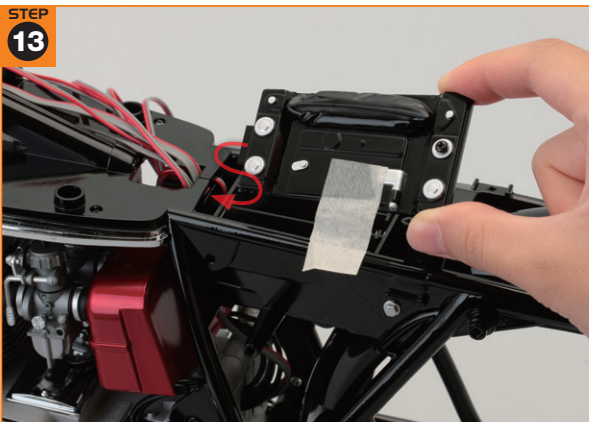
続いてメインスタンドを立てて手を離す。このときも、スタンドが倒れようとするか、そのままを確認する。倒しても立ってしまう、または立てても倒れてしまう場合は、スプリングの調整が必要となる。

STEP  
12



スタンドの動作の状態は、リターンスプリングを取り付けたピスの“締め込み加減”で調整する。締め込み過ぎると動きが渋くなり、緩過ぎると動作が不安定になる。何回か試し、ベストな状態になるよう調整しよう。

STEP  
13



メインフレームを起こし、57号の作業で取り外した電池ボックスカバーをセットする。このとき、電池ボックスのケーブルは、“溝の右端”に寄せておこう。

STEP  
14



1番の+(プラス)ドライバーを使い、電池ボックスカバーをメインフレームに固定する。カバーは今後も脱着するので、ピスは“外れない程度”にねじ込んでおけばいい。

STEP  
15



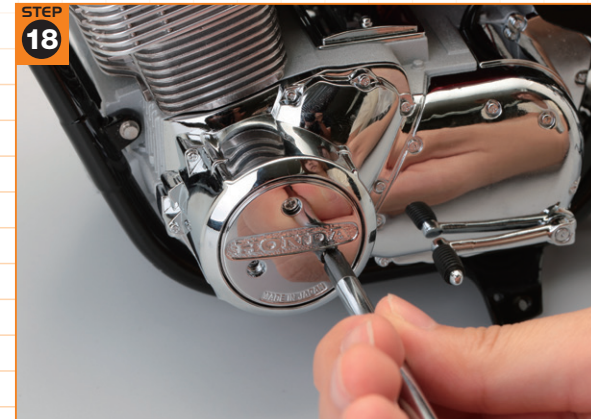
②ダイナモカバーを用意し、メインフレーム左側面下にある、ミッション&ダイナモケースカバーの取り付け位置にセットする。



ダイナモカバーをセットしたら、③ビス(Mタイプ)を用意し、上にあるビス穴へセットする。



1番の+(プラス)ドライバーを使い、Mタイプのビスを真っすぐにねじ込む。

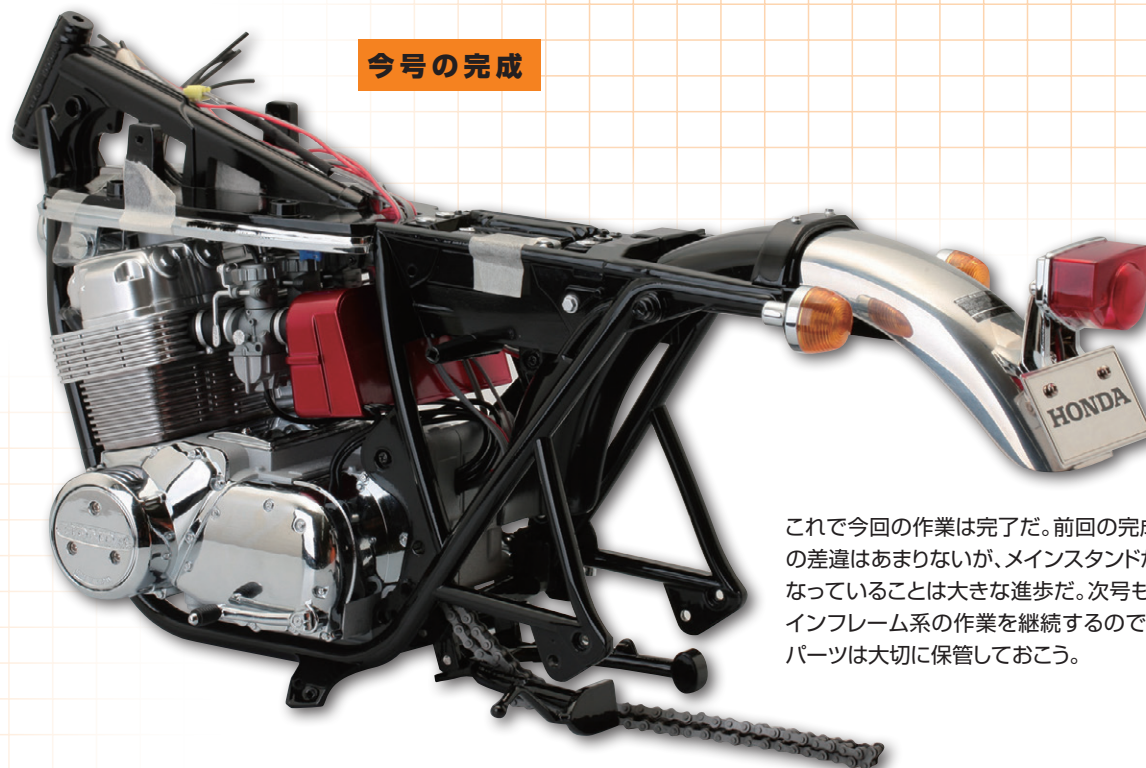


続いてリヤ寄りのビス穴にもMタイプのビスをセットし、1番の+(プラス)ドライバーでねじ込む。



最後にフロント寄りのビス穴へMタイプのビスをセットしてねじ込んで、ダイナモカバーを固定する。

### 今号の完成



これで今回の作業は完了だ。前回の完成時と外観上の差はあまりないが、メインスタンドが可動状態になっていることは大きな進歩だ。次号も引き続き、メインフレーム系の作業を継続するので、組み立てたパーツは大切に保管しておこう。